

# 舷 想

第20号



海事代理士の日  
6月1日

一般社団法人 日本海事代理士会

## 目 次

1. 巻頭言	.....	2
2. 本部活動報告	.....	3
3. 新役員就任挨拶	.....	7
4. 電子化推進ワーキンググループ	.....	16
5. 中央研修会報告	.....	19
6. 平成 30 年度会員意識調査結果報告について	.....	21
7. 支部だより	.....	25
8. 最新情報	.....	31
9. 専門委員会からのお願い	.....	33
10. 海政連だより	.....	34
11. 頒布用紙一覧・発行図書一覧	.....	37
12. 会員動向	.....	38

# 巻 頭 言

会長 小 田 啓 太

平素より当会活動にご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

今年度は、6月末の大阪府北部地震に始まり、豪雨・大型台風・地震など大規模自然災害が相次ぎ発生しました。被災された皆様に対し、謹んでお見舞いを申し上げます。

6月に会長に選任され、5ヶ月が経ちました。前期まで副会長として延べ3期6年、松居前会長を補佐させていただきましたが、会長に就任し、改めてその任務の重さを実感しているところです。

さて、当会は、海事代理士の品位保持および業務の改善進歩を柱に活動しています。この目的を達成するための一つとして、会員サービスの向上があります。

今期より、会の内外へ発信するコンテンツを一括担当する部署として、広報委員会を設置しました。同委員会は、本誌を始め、海事の窓、最新情報のほか、海フェスタなど広報宣伝に関する分野を担当します。

また、ホームページのセキュリティ強化と利用環境改善を行うため、特別委員会として情報技術調査委員会を設置しました。

従来、広報やホームページを担当していた情報企画委員会は、現在のホームページの維持管理を担当するとともに、新たなホームページが構築された際には、それらの運営を担当します。

これらの取り組みにより会員の皆様により充実した情報提供ができるよう努める所存ですが、なにぶん新たな取り組みでもあります。安定航行まで、今しばらくご猶予をいただきたく存じます。

当会の宿願でもある海事代理士法改正活動については、日本海事代理士政治連盟と協力し、各方面への働きかけも続けて参ります。

ところで、私たち海事代理士が海事関係者、行政担当者、政治家等多くの方々から信頼され、その要望に耳を傾けていただくためには、私たち一人一人が日々研鑽し、その知見を深めるとともに、海事代理士としての品位の向上にも努めなければなりません。

昨今、ブログやSNSを活用し、業務の紹介をされている方もいらっしゃいます。その多くは自製の利いた好感の持てる内容ですが、中には撮影許可を得ているのかが疑われる写真や、守秘義務・他士業との業際に抵触しかねないような記載も見受けられます。

今後、当会として、海事代理士法に抵触する行為の排除に向けての活動も検討している中で、私たち自身、自らを省み、襟を正す必要があるのではないかと考えております。海事代理士の品位と知見の向上に繋がる各種研修等活動にも引き続き注力して参ります。

最後になりますが、当会の活動は、会員の中から選ばれた委員で構成される各委員会が担っております。

委員の皆様には日常業務の傍ら、貴重なお時間を会務に頂戴しておりますこと、ここに改めて御礼申し上げますとともに、会員の皆様に、より一層のご協力をお願いして、巻頭の言葉とさせていただきます。



舷想は会員限定の広報誌です  
続きはこちら



<https://jmpcaa.org/company/>

海事代理士の日  
6月1日